

令和5年度学校評価アンケートのまとめ

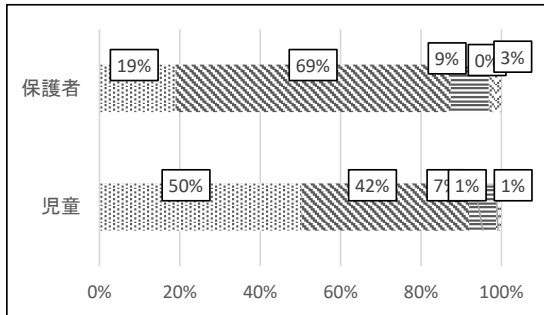
蒲郡市立西浦小学校長 戒田 正敏

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。結果がまとまりましたので、お伝えします。  
 以下の結果を真摯に受け止め、これからの西浦小学校のために役立てていきます。今後も保護者の皆様とともに、子どもたちのために尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。

A	B	C	D	E
よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	よくわからない
肯定的回答		否定的回答		

昨年度との比較 増↑ 減↓ 増減なし→

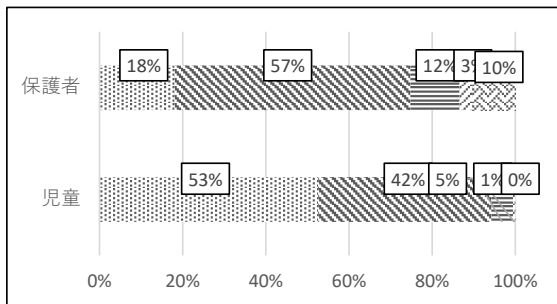
Q1 学校は、「あ」・・・あいさついっぱいの学校を目指して努力している。



Q1 肯定的回答 保護者 88%↑ 児童 92%↑

保護者の肯定的回答の割合が昨年度の76%から88%に増えました。児童の肯定的回答の割合は、昨年度の90%から92%とほぼ変わっていません。朝の見守りをしてくださるスクールガードの皆様や地域の方からあいさつの声をかけてくださっているおかげであると思います。今後も学校、地域、家庭で、子どもたちが元気よくあいさつできる環境を整えたいです。

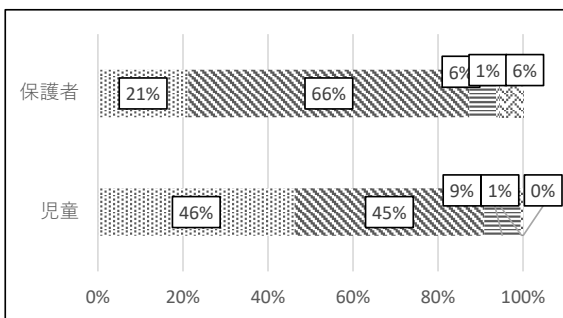
Q2 学校は、「い」・・・いじめのない学校を目指して努力している。



Q2 肯定的回答 保護者 75%→ 児童 95%↑

昨年度より肯定的回答の割合が児童は昨年度の90%から95%と高く、保護者は昨年度と同じでした。昨年同様、児童と保護者の意識には差があり、保護者の皆様にはご心配をおかけしていることがわかります。定期的に行っている教育相談では、その結果を職員間で情報共有し、家庭との連携を図っていきます。

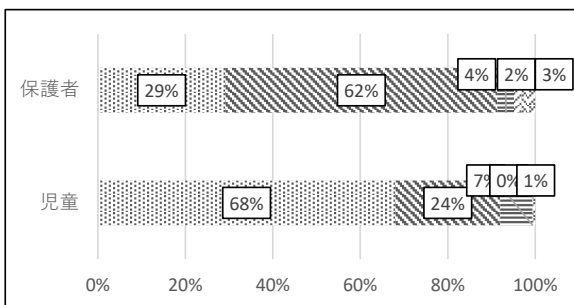
Q3 学校は、「う」・・・うつくさいっぱいの学校を目指して努力している。



Q3 肯定的回答 保護者 87%↑ 児童 90%↑

今年度は、公民館と学校の連携事業で、環境委員会の児童や地域サポータの皆様と、職員室前の花壇を大改造しました。委員会の子たちが、ガーデニングのプロの方からパンジーの世話の仕方や水やりの方法を学び、花壇の花々を育てています。チューリップの球根も芽を出し始め、春にはきれいな花が咲き誇るのが楽しみです。ご来校の折に、ぜひご覧ください。

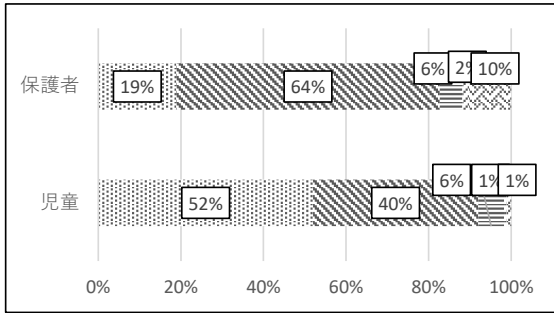
Q4 学校は、「え」・・・えがおいっぱいの学校を目指して努力している。



Q4 肯定的回答 保護者 91%↑ 児童 92%↑

児童会活動では、季節ごとに七夕集会、クリスマス集会を行い、たてわりグループで楽しみました。運動会やマラソン大会では、多くの保護者の皆様にご来校いただきました。マラソン大会では、PTA活動として、スープとジュースをふるまっていたいただき、子どもたちの笑顔がたくさん見ることができました。

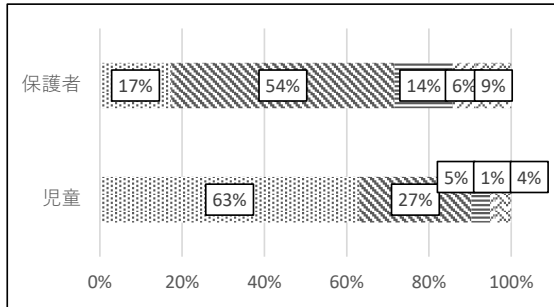
Q5 学校は、「お」・・・おもいやりいっばいの学校を目指して努力している。



Q5 肯定的回答 保護者 83%↑ 児童 92%↑

道徳の授業では「人との関わりに関すること」の内容項目で「親切・思いやり」について学習しています。地域学習では、高齢者との関わりや環境学習を通して、人や生物すべてに対する優しい心が育っています。学級では、引き続き友達や自分のよさを見つける活動や温かい言葉遣いを考える活動を行っています。

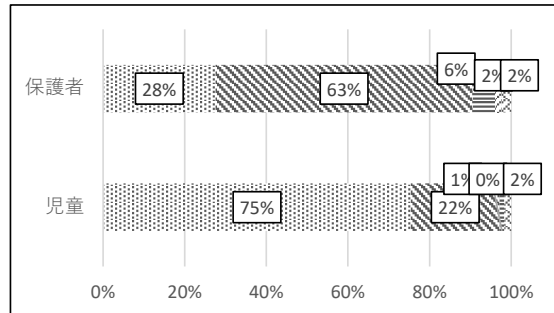
Q6 学校は、子どもや保護者の考えや思いを大事にしている。



Q6 肯定的回答 保護者 71%↓ 児童 90%↑

この項目では保護者の割合がやや低い値となっています。教育活動についていただいているご意見が様々あります。(宿題、生徒指導、行事に関すること等)いただいたご意見は、真摯に受け止め、学校運営協議会(地域・小中保護者・各機関代表が委員となっている)や教職員で情報共有・検討し、来年度の教育活動、学校運営の改善に努めます。

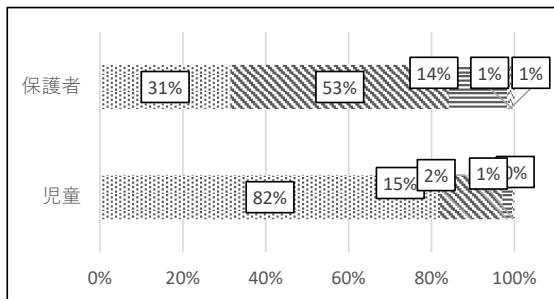
Q7 学校は、子どもの安全指導に力を注ぎ、安全な生活に配慮している。



Q7 肯定的回答 保護者 91%↑ 児童 97%↑

6月の大雨や土砂災害から子どもたちを守るため、臨時下校や急なお迎えにご協力をいただき、ありがとうございました。また、登下校では、スクールガードの活動として全家庭に、子どもたちの様子や危険箇所の報告をお願いします。学校では、蒲郡警察署の協力を得て、刃物を振りかざす不審者に、教職員が、さすまたをもって対応する実際の状況を想定した不審者対応訓練を行いました。通報から警察官が到着するまでの間に、不審者から子どもたちを守る方法を学びました。

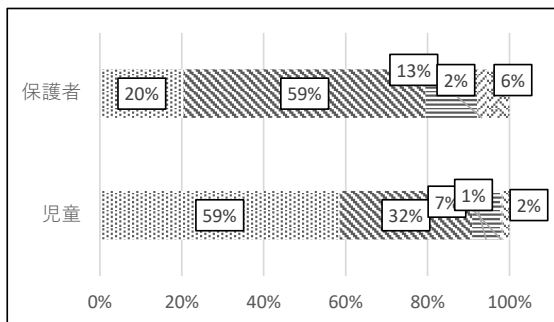
Q8 学校は、ホームページや学年通信等で情報を積極的に発信している。



Q8 肯定的回答 保護者 84%↓ 児童 97%↑

学年通信、学校通信、ホームページ等、活動の状況がわかる写真を掲載しながら発行、発信しました。ホームページの更新やデータでの発信など、ICT支援員と協力しながら、情報発信を行っています。また、運動会の写真を販売してほしいとPTAの役員さんからご意見をいただいています。業者と連携して販売できるよう検討しています。

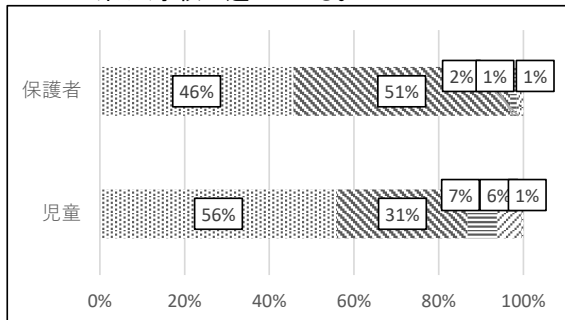
Q9 学校の授業がわかりやすく、楽しく学習できている。



Q9 肯定的回答 保護者 79%↓ 児童 91%↓

授業では、「聞き方」「話し方」について全校で共通した目標を掲げ、子どもと教員が意識して授業を進めました。また、今年度も教員同士も授業を互いに見合う期間をつくり、授業力向上に努めました。小中交流による専科教員の乗り入れ授業で、中学校教員の授業からも学び、小学校教員の力量向上を図ります。今後も研修を積み、子どもたちが「わかった」「できた」と実感できる授業を目指します。

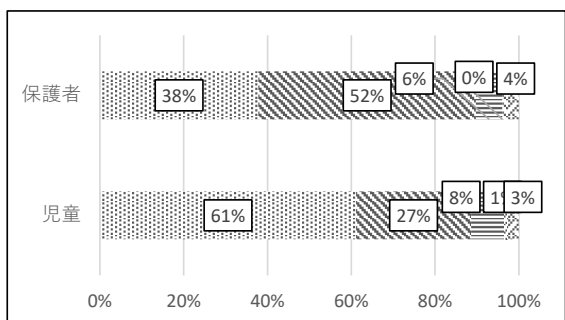
Q10 楽しく学校に通っている。



Q10 肯定的回答 保護者 97%↑ 児童 87%↑

昨年度同様、この項目の児童と保護者のずれが見られました。8割以上の児童が「学校に楽しく通っている」と答えていますが、学校に楽しく通っているように見えても、悩みを抱えている児童もいるのではないかと考えます。アンケートや教育相談で、子どもの様子に注意し、気になることがあればご家庭と連携をして解決していきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

Q11 学校と地域で『まちぐるみ』で子どもたちを育てていくことが大切であると思う。



Q11 肯定的回答 保護者 90%↑ 児童 88%↓

コミュニティ・スクール先進校として、学校運営協議会が設置されて2年目となります。学校運営協議会では、地域と学校が願いを共有します。地域学校協働本部では、その願いを具現化するために学校を支援してくださる地域の方とつなぐ活動を行っています。サポーターとしてご参加いただいた多くの地域と保護者の皆様に感謝申し上げます。

【児童】<質問> 将来どんな人になりたいですか

・「やさしい人」「誰にでもやさしくできる人」と答える児童が多くいました。また、「人に頼られる人」「困った人を助けられる人」「みんなを笑顔にできる人」など、他者を意識した考えが4～6年の高学年に多くありました。高齢者と交流した経験等を通して、やさしい気持ちが育てていることがわかります。その他、将来の仕事としてスポーツ選手や、薬剤師、医者、学校の先生、パン屋、ケーキ屋など、具体的に挙げている子も多くいました。

【児童】<質問> そのために、がんばりたいことは何ですか

・上記の「やさしい人」になるために、「日頃からみんなにやさしくしたり、仲良くする」「優しくする」「いつも思いやりをもって行動する」「どんな人にもあいさつなどをできるようにする」「普段から人の気持ちを考える」「地域の人に優しくする」と述べています。  
 ・「友達とたくさんしゃべる」「今のうちかしっかりとあいさつなどをする」「笑顔で元気よく接する」「笑顔を増やす」などコミュニケーション力を高めようという児童もいました。  
 ・「勉強をがんばる」「スポーツの練習をがんばる」なども多かったです。  
 ・具体的な夢や目標、そのための方策を子どもたちなりに考えていることがわかりました。

●保護者<質問> 西浦の子どもたちに、将来、どんな人に育ててほしいですか

・「思いやり」「優しさ」「自立」という言葉を挙げた保護者が多くいました。また、「自分の考えをもって」「自信をもって」「社会に貢献できる人などが挙げられていました。

●保護者<質問> そのために、家庭や地域で、どんな教育や活動が必要だと思いますか

・「地域の大人や年代を超えた人との関わり」「子どもとの対話」「あいさつ」「ほめる」などが挙げられていました。「子どもとの対話」では、日々の生活の中で「子どもの話に耳を傾ける」ことは、家庭だけでなく学校でも心がけていきます。

●保護者<質問>そのために、学校で、どんな教育や活動が必要だと思えますか

・「様々な人(地域)、異学年)との関われる学習」「子どもの話に耳を傾ける(生徒指導や相談活動)」「地域学習の継続」が多く挙げられていました。教科の学習と総合的な学習の時間での地域学習とのバランスや義務教育学校の新設に向けて、新たな教育課程の見直しを図ります。

<その他記述より>

【行事について】

・「宿泊研修がなぜないのか」というご質問をいただきました。市内では、本校、蒲郡西部小、大塚小が宿泊研修を行っていません。小規模校では、宿泊研修に多くの教員が引率することで、校内の学習や健康管理に支障が出ます。補欠に入る教員の不足は宿泊研修に限らず、日常的にも厳しい現実です。半日や1日の校外学習で地域と連携して子どもの心を育てていきます。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

・「学芸会」についても、市内小学校では学芸会ではなく、学習発表会を行っています。学芸会は、子どもの表現力を伸ばす貴重な行事ですが、膨大な練習時間が必要でした。その結果、教育課程の一部を練習にあてることになり、学習が滞ることがありました。したがって、「学習発表会」として日々の学習の成果を発表することで、大切な学習の時間を確保しています。

【宿題等について】

・夏休みの宿題について、ご意見をいただきました。

「作文」「感想文」については、来年度はどちらかを選択する方法で行う予定です。

将来に必要な力として、自分の考えを文章で正しく伝える力を育てることは重要です。国語の学習や他教科での自分の学びの振り返りなど、文章を書く機会は多くあります。日常的に作文指導を意識して行っています。

・今年度、宿題をタブレットで行えるよう試行しています。担任から送信した課題に児童が家庭で取り組むと、自動で丸付けが完了します。また、担任のタブレットから、学習進捗が確認でき、100%完了している場合は、担任が、ごほうびスタンプを押すことで、児童の学習意欲の継続を促します。児童は、問題に答えると採点されるので、すぐに間違いを直すことができます。長期休業においても、これを採用することで、子どもたちの学習状況が常に把握できるようになります。試行の結果(メリット、デメリット)や価格について検証し、次年度以降の採用を検討中です。

・上記のドリル学習は、基礎学力の定着をねらいとしています。自主学習は、自分の足りない学習を補充したり、よりくわしく知りたいことを調べたりすることで、一律でない自由な学習をすることができます。どちらもバランスよく学習できるよう課題の与え方や量の確認、見直しをします。

**\* 大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。今後の学校運営に生かしていきます。**